

「就実大学・就実短期大学中期計画」 (2020年2月～2025年3月)

重点項目	マスタープラン(中期課題)	アクションプラン(中期行動計画)
I. 建学の精神・教育理念の明確化	建学の精神の周知徹底	建学の精神を広く、学生・教職員、地域社会にわかりやすく伝え、周知を図る
	教育理念の具現化	学部・学科及び研究科の教育理念に基づき、特色、強みを明確に示した取り組みを推進する
II. 教育改革の推進	内部質保証体制の構築	内部質保証に責任を持つ組織を設置して、3ポリシーを踏まえた教育活動状況を点検評価し、改善につなげる IR、企画戦略室を設置し、専門スタッフを配置してIR機能の充実を図る 外部評価委員会及び学生代表による評価結果を教育活動の改善につなげる
	学習成果の可視化の推進と教育プログラムの改革・改善	学生の成長度測定やルーブリック評価の導入を促進し、適切性を定期的に点検評価、改善につなげる 卒業時アンケートや卒業後アンケート調査に基づいて教育のアウトカムを評価、改善につなげる 学位プログラムの再構築を検討する
	教育効果を上げる新たな教育手法及び多様なICT活用手段の導入	双方向授業や自主学習支援にeラーニングシステムなどICTの活用を促進する アクティブラーニング等を想定したICT活用教材を開発する
III. 研究活動の活性化	研究成果の国内外への公開・情報発信と社会への還元	論文数、発表数を増やし、教員の研究成果を国内外に発信して、社会における活用 に供する
	産学官連携による特色ある共同研究の推進	産学官連携による共同研究の件数を増やし、活性化を図る
	教員の研究支援体制の強化	学内助成制度による若手教員の研究支援体制を強化する 教員の国内外での短期・長期研修を促進する
	競争的外部資金獲得の促進	科学研究費、財団助成金、企業との共同研究・受託研究等への申請を推進する
	研究倫理・研究コンプライアンス体制の強化	研究倫理教育・研究コンプライアンス教育を徹底し、研究不正防止体制を強化する
IV. 学生支援の充実	教育環境整備の充実	計画的な施設・設備の改修・更新を推進する
	主体的学びを促す学習環境の充実	学修ポートフォリオの活用を推進し、きめ細かい指導を行う 図書を充実し、図書館利用と学術情報サービスを向上する
	学生相談・支援活動の整備・拡充	関連部局の連携による総合的な学生支援体制を強化する 多様性に配慮するとともに、障害をもった学生への支援体制を強化する メンタルサポート体制を強化する 学生支援にあたる教職員に対する支援体制や研修機会を充実する 留年者・低学力者に対する支援を強化する 学生サポータースタッフ(TA, SA等)の研修を充実する
	奨学金制度の拡充	給付型奨学金制度を検討し、学業・スポーツ奨励の充実を図る
	キャリア教育の充実と、キャリア支援体制の強化	初年次からのキャリア教育を充実する 後援会及び同窓会との連携による学生支援とネットワークを構築する
V. 安定的な入学者の確保	アドミッション・ポリシーに基づく適切な入学選抜の実施	少子化や受験生の多様化に対応した入試改革を推進する
	高大連携の推進	高校との協議体制を構築し、社会や受験生のニーズを考慮した入試戦略を図る 高大連携による出前授業や入試前教育を充実する
	オープンキャンパスの活性化	学部学科イベントの検証を行い、新しいイベントを策定する
	入試管理体制の強化	入試実施、定員管理等の適切性をデータに基づいて検証し、優秀な学生を確保する
VI. 地域貢献・社会連携の推進	交流活動を通じた地域貢献の推進	地域や企業との交流活動を通じて地域連携を推進し、地域活性化に寄与する
	社会に開かれた大学としての生涯学習の充実	社会人入学生の受け入れを促進する 学内外の公開講座の活性化を図る
	地域連携による共同研究・共同事業の推進	地域の産業界や自治体、教育機関との連携により、共同研究・共同事業を推進する
	子育て支援事業の推進	子育て支援体制を充実し、様々な事業を展開して地域活性化を図る
VII. 国際化・グローバル化の推進	国際理解のための教育・研究の強化・推進	異文化理解のための教育や外国語教育を充実する 海外での研修やボランティア活動を推進する 学生の海外留学と外国人留学生の支援を強化する
	海外研究者・学生との交流の推進	海外の大学間協定締結拠点大学との国際学術交流を促進する
VIII. 組織運営体制の改革・改善	教育研究組織改革	大学院・学部学科の改組、新設置計画を進める
	多様な人材の活用と教職員組織の適正化	適正な人事評価制度で、公正な人事、処遇改善を推進する
	FD・SD活動の充実	FD・SD研修で教職員の資質向上を図る
	企画広報の充実	ブランドを構築してイメージアップを図り、時代に即した新たな広報戦略を展開する
	学園内連携の強化	学園内の校種間の協力連携体制を強化し、学園の発展に貢献する
	情報公開(透明性確保)の推進	大学ポートフォリオを充実し、大学情報の公開、透明性を確保する
IX. 堅実な財政基盤の確保	業務効率化の推進	業務処理の電算化、外部委託化を促進する
	財政計画の策定と財政管理体制の強化	収支状況をモニタリングし、中期計画実現のための改善と事業収支差額の目標数値を作成し実行する
	事業計画に基づく適切な予算の編成・執行	予算管理をシステム化し、執行状況を把握して、効率的・安定的な予算執行を行う
	戦略的な予算の重点配分、新規事業の推進	特色ある事業等について重点的な予算措置を講ずる